



祐介の目

ひぐちきいちろう
樋口季一郎と

ユダヤ人

東京の図書館や書店で「ア
ネの日記」等のユダヤ人迫害関
連本が相次いで破られるとい
う事件が発生し、容疑者が逮捕
された。福山には「ホロコース
ト記念館」もあり、胸を痛めた
人も多かったのではないか。そ
してこの事件を機会として改
めてユダヤ人迫害の歴史がク
ローズアップされた。

皆さんは、歩兵第四一連隊の
第一七代連隊長・樋口季一郎
とユダヤ人の関わりをご存知
だろうか。樋口は福山の連隊長
を務めた後、昭和十三年三月に
満州国ハルピンの特務機関長
となった。そこで多くのユダヤ
人がナチスの迫害から逃れる
ため、ソ連々満州国の国境まで
避難している事を知られた。
樋口は凍死者がでる惨状を見
かね、独断でユダヤ人に対して
給食と衣類・燃料を配給し、要
救護者への加療を実施した。さ
らに出国の斡旋、満州国内への

No.32

大田ゆうすけ
(福山市議会議員)

毎月1日号に掲載

入植の斡旋、上海租界への
移動の斡旋等を行ったそう
だ。これは杉原千畝が「命の
ビザ」を発給する二年前の
義挙であり、一説には二万
人のユダヤ人の命が救われ
たという。

敗戦後の二〇年八月一八
日、ソ連軍は千島列島最北端の
占守島に上陸してきた。北部軍
司令官の樋口は、一五日に出さ
れた大本営の停戦命令を無視
してこの千島侵攻部隊に痛撃
を与えた。これにより北海道は
ソ連領となることを免れたと
言われている。スターリンは樋
口を戦犯に指名したが、世界ユ
ダヤ協会はいち早くこの動き
を察知し、世界中のユダヤ人コ
ミュニティーが樋口救出運動
を展開した結果、米国はソ連か
らの樋口引き渡し要求を拒否
した。

杉原が「日本のシンドラー」
と評価されるに対して樋口の
名前があまりにも知られてい
ないのはなぜか。それは彼が軍
人であったからだろう。軍事に
対するアレルギーは根強いが、
東日本大震災を機会に自衛隊
に対する評価も大きく変わっ
た。樋口季一郎は福山との縁も
深く、名誉市民にしてもおかし
くないと個人的には感じしてい
る。軍人だったという理由で無
視される国は日本くらいでは
なだろうか。